

かいじょうばんごう	かいじょうめい	じゅけんばんごう	なまえ	フリガナ	□ていせい	せいべつ	せいねんがっぴ
		がくねん・くみ				せいねんがっぴにまちがいがあるときは、 □ていせいにマーク(■)し、ただしせいねんがっぴをかいください。	
							□ていせい
		ねんくみ					
						ご記入いただきました個人情報、当財団の検定にかかわる業務のみに使用します。 (ただし、検定に関わる業務に際し、業務提携会社に作業を委託する場合があります。)	

問題Ⅰ つぎの といに こたえなさい。

一 つぎの □ に あう カタカナを () の 中から えらび、
かん字に なおして かきなさい。

(1) あさ □ く おきる。 (マル アカ ハヤ)
(2) はまべで □ がらを ひろった。(カイ イシ ハナ)
(3) あねは 五 □ です。(センセイ ネンセイ セイネン)

二 ○ に あう ひらがなを () の 中から えらんで
かきましよう。 □ の よこに かいて ある カタカナを
かん字に なおして かきましよう。

(1) いもうと ○ □ い くつ ○ はく。 (を は へ)
(2) となり □ マチ ○ びょういん ○ いった。 (へ を の)
(3) ぼくは にわ ○ □ ソウ ○ ぬいた。 (を の が)

三 つぎの □ に 入る ことばを あとの □ の 中から
えらんで かきなさい。

(1) おなかが □ いたむ。
(2) なべで シチューを □ いる。
(3) □ と はくしゅをする。
(4) せが □ のびる。

ぐんぐん ちくちく ぱちぱち ことこと

とうあんようしは うらめんへ つづきます。

《問題Ⅱ》 つぎの といに こたえなさい。

- 一 つぎの 五つの ことばの 中に 一つだけ なかまに ならない ことばが あります。
その ことばに ○を つけなさい。

- (1) うどん スパゲッティー ハンバーグ ラーメン そうめん
(2) アイロン すいはんき そうじき ひこうき せんたくき

- 二 つぎの 四つの ことばは なにの なかまでですか。あとの の中から えらんで に かきなさい。

- (1) 千 十 九 百
(2) はし コップ ちやわん フォーク
- いろ すう字 しょつき
がつき のみもの

- 三 つぎの ことばと はんたいの いみの ことばを あとの アウの 中から えらんで きごうに ○を つけなさい。

- (1) ほそい ア ながい イ みじかい ウ ふとい
(2) のびる ア ちぢむ イ ふくらむ ウ かこむ

- 四 に 入る ことばを あとの アウの 中から えらんで、きごうで かきなさい。
(1) が せんろを はしる。 (ア) しょうぼう車 イ じてん車 ウ でん車
(2) にわの 木に みが 。(ア) なる イ とる ウ くる

- 五 つぎの に 入る ことばを あとの の 中から えらんで かきなさい。
(1) わたしは 本を よむのが 大すぎです。 まいしゅう どうよう日
には としょかんへ 本を かりに いきます。
(2) きょうの おべんとうには たまごやきと ハンバーグと スパゲッティーが 入って いました。 わたしの すきな もの ばかり 入っていました。

だから なぜなら でも つまり たとえば

かいじょうばんごう	かいじょうめい	じゅけんばんごう	なまえ	フリガナ
		がくねん・くみ		
		ねん	くみ	

《問題Ⅲ》もんだいさんぶん 文しょうを よんで、あとの といに こたえなさい。

びわこは 日本にほんで いちばん 大きい みずうみで、しがけんに
あります。なん百ひゃくまん年ねんも まえに できた ふるい みずうみ
で、かたがが がっきの びわに にているので、「びわこ」とい
う 名なまえに なったと いわれています。びわこには、千せんしゆる
いを こえる どうしよくぶつが いて、中なかには ビワコオオナマ
ズや ゲンゴロウブナなど、びわこにしか いない めずらしい
いきものも います。

一 この 文ぶんしょうは なにに ついて かかれていますか。

について

二 なぜ「びわこ」という 名なまえに なったと いわれていますか。

から。

三 びわこについて 正ただしく せつめいした 文ぶんを アウの 中なかから
えらんで きごうに ○を つけなさい。

ア びわこは せかいで いちばん 大きい みずうみだ。
イ びわこが できたのは 百年ひゃくねんまえだ。
ウ びわこに いる どうしよくぶつは 千せんしゆるいを こえる。

《問題Ⅳ》もんだいよん つぎの といに こたえなさい。

一 に 入はいる ことばを アウの 中なかから えらんで きごう
に ○を つけなさい。

(1) はなし ア こわい イ ひくい ウ しろい
(2) 見える ア ぐっすり イ はっきり ウ すっぱり

二 つぎの ことばを ならべかえて、文ぶんを つくりなさい。

(1) さつまいもを ぼくは 大きな ほった。

(2) あたたかい のんだ わたしは ココアを。

《問題Ⅴ》 つぎの といに こたえなさい。

一 つぎの 文しょうを よんで あとの といに こたえなさい。

ア そして、いろとりどりの はねを からだ中に はりつけて きかざった。
イ かみさまが いちばん うつくしい とりを 王さまに すると いった。
ウ けっきよく カラスに のこされたのは じぶんの くろい はねだけ だった。
エ すると、ほかの とりたちは おこって じぶんの はねを カラスの からだから いっせいに むしりとった。

オ カラスは ほかの とりの きれいな はねを ひろいあつめた。

(イソップものがたり「おしゃれなからす」あらすじ)

(1) アゝオの 文を ならべかえて、おはなしを つくりなさい。

↓

↓

↓

↓

(2) この おはなしから、どんな ことを 学ぶ ことが できますか。 つぎの アゝウの 中から 一つ えらんで きごうに ○を つけなさい。

ア どんなに きかざっても 見かけだけでは いみが ない。
イ うつくしくなるためには どんなことを しても よい。
ウ 人のものを かってに とっては いけない。

二 つぎの 文の — の ことは、どんな 気もちを あらわしていますか。 アゝウの 中から えらんで、きごうに ○を つけなさい。

(1) はじめて ゆうえんちへ いくので わくわくしている。

ア たのしい イ こわい ウ びっくり

(2) じぶんの 出ばんが ちかづいて そわそわする。

ア おこっている イ かなしい ウ おちつかない

《問題Ⅵ》 絵を見て、 に あてはまる ことばを アゝオの 中から えらんで に きごうで かきなさい。

ぞうが 大きな (1) のそばに 立っています。

ぞうは (2) で (3) を つかんで たべています。

(4) の そとから (5) が ぞうを 見えています。

ア 女の子 イ はな ウ 木 エ りんご オ さく

